

『30点で打席に立つ』

2023/09/27 (水)

メモリーさんと語るFindy Engineer Lab オフ会 LT

@konifar



LTテーマ「エンジニアキャリアに影響を与えたモノ・コト・デキゴト」

今回のLTテーマは「エンジニアキャリアに影響を与えたモノ・コト・デキゴト」です！

キャリアに影響を与えた本や漫画、ブログ、人、コミュニティ、ターニングポイントとなった出来事などあなたのきっかけを教えてください！

**2015年春くらいに
ブログを書き始めた**

CEOとの1on1がきっかけ

CEO「採用うまくいかないね」

CEOとの1on1がきっかけ

CEO「採用うまくいかないね」

konifar「そもそも会社自体知られてないですしね」

CEOとの1on1がきっかけ

CEO「採用うまくいかないね」

konifar「そもそも会社自体知られてないですしね」

CEO「どうしようか」

CEOとの1on1がきっかけ

CEO「採用うまくいかないね」

konifar「そもそも会社自体知られてないですしね」

CEO「どうしようか」

konifar「じゃあとりあえず何かブログ毎日書いてみますよ」

CEOとの1on1がきっかけ

CEO「採用うまくいかないね」

konifar「そもそも会社自体知られてないですしね」

CEO「どうしようか」

konifar「じゃあとりあえず何かブログ毎日書いてみますよ」

CEO「いいね、あとは？」

CEOとの1on1がきっかけ

CEO「採用うまくいかないね」

konifar「そもそも会社自体知られてないですしね」

CEO「どうしようか」

konifar「じゃあとりあえず何かブログ毎日書いてみますよ」

CEO「いいね、あとは？」

konifar「月に2回くらいどっかで登壇してみますか」

一発目から正解のない設計の話 今思うとわりと勇気ある

2015-04-17

AndroidではMVCよりMVPの方がいいかもしれない

開発 Android 自分の指針

Android開発していると、なんかMVCうまくいかないなあともやもやしてきました。そろそろ他のアーキテクチャを模索してみた方がいいんじゃないかと思いはじめまして、ある程度考えがまとまったので自分なりの指針を残しておこうと思います。

そもそもアーキテクチャ必要なのか

世の中には色々なアーキテクチャが存在するんですが、なんか概念を読んでもスッと理解できることが少ないんですよね。これはなぜかと言うと アーキテクチャが解決しようとしている問題を理解できないからです。

極端に言うと、HelloWorldを表示するアプリにMVCを導入する必要があるの？って言うとなんて答えはNoですよ。じゃあ猫の名前をリストで表示するアプリだったらどうかと言われると、これもまだ必要ないかもしれません。つまり、アーキテクチャを適用しなくても

<https://konifar.hatenablog.com/entry/2015/04/17/010606>

自分の思考整理 WIP のつもりで 書いたが予想外に読まれる

AndroidではMVCよりMVPの方がいいかもしれない - Konifar's WIP 

 テクノロジー  記事元:  konifar.hatenablog.com

313 users がブックマーク  20



コメントを入力してください (省略可)

 タグを入力して追加



B! ブックマーク

色々な意見をもらう



mhidaka

@mhidaka

AndroidではMVCよりMVPの方がいいかもしれない - Konifar's WIP
konifar.hatenablog.com/entry/2015/04/... うーん。AndroidにMVCという考え方を持ち込むのは推奨しない。ただ不便から発明が生まれるので実際の開発で使ってみつつ試みを続けてほしいなあ

午後6:08 · 2015年4月17日

**自信がなくても色々やってみる方が
何かとよいと感じ始める**

何かとよかった例

月2回ペースで登壇をしてみる

=> 懇親会で話しやすくなるしコミュニティの楽しさを知った

英語話せないけど公用語が英語の会社に転職する

=> 最初は震えていたが、会議やチャットで数こなしたら慣れた

カンファレンスアプリを作ってみる

=> OSSの公式アプリになり、一気に知見が広がった

マネージャーやってみる

=> プレイヤーに戻ったあとの解決策の幅がかなり広がった

**感覚的には”30点”くらいで
やっていくのがよい**

「生存バイアスつよくない？」

そうだよ！



**ただ自分のまわりのすごいと思う
人はみな打席に立つ数がとても多い**

自分もそれに憧れて 30点くらいで何かをやっている

(実はこのLTも 自分が大きな何かを果たしたわけではないのに... という気負いがある)

**30点で打席に立つ
マインドセット**

1. 基本的に人は自分を見ていない

「マサカリがこわい」「炎上しないか不安」

みたいなことはあんまり問題にならないことが多い。

そもそも人はあまり見ていないし、見ていてもすぐ忘れてしまう。そういう状況になったらラッキーくらいに考えて、何か起きてから対処でも全然問題ない。

konifarが昔何度も炎上して記事消したこともあるのたぶん知らないですよ。

2. 80点を目指しつつ30点でも踏み出す

「30点でいいや」ではない。

その時の自分にとっての80点を目指しながら、「他のすごい人から見たら30点くらいだろうし不安だな」くらいの状態で踏み出すのが大事。

とにかく一生懸命目の前のことをやっていくと、満点の感覚が上がっていきそのぶん30点のレベルも上がる。それでいい。

昔一緒に働いていたインターン
David の言葉にも影響を受けてる



昔一緒に働いていたインターン David の言葉

konifar「これおねがいできる？」

昔一緒に働いていたインターン David の言葉

konifar「これおねがいできる？」

david「もちろんできるけど、やり方はわからない！」

「もちろんできるけど、
やり方はわからない！」



**打数を増やして
やっけていきましょう**